

フグ類

分類：フグ目 フグ科
 学名：各項に記載
 英名：Puffer

全世界の熱帯から温帯にかけての沿岸海域に分布するが、一部の種では中層に生息するものもある。殆んど海水魚であるが、アマゾン川や東南アジアの淡水域に生息する種もある。フグ科の特色として次の様な点があげられる。背鰭としり鰭は略々同形同大で、一般に体の後方の上下対称の位置にあり腹鰭はない。歯は上下4枚の歯板から成り、この歯は口を閉じても見られる。胃壁は薄く弾力性に富み膨張囊と呼ばれるが、驚いたり、怒ったりすると、水や空気を吸いこみ、ふくれあがる。殆んどの種属が、体内に加熱しても分解しないテトロドキシンと呼ぶ猛毒があり、肝臓、卵巣に多い。春の産卵期から秋にかけては、特に毒性が強い。外皮にウロコはなく小さな棘をもっている。浅海の底で生活し、底生の小動物を食する。体長20~70cmで、トラフグは比較的大型種である。



トラフグ(フグ属)
Fugu rubripes rubripes



Tetradon fahaka



シボリキンチャクフグの一種
 (キタマクラ属)
Canthigaster margaritatus



Tetradon fahaka



シマキンチャクフグ(キタマクラ属)
Canthigaster valantini



サザナミフグ
Tetradon hispidus
 (Arthron)



シマキンチャクフグ



フグ類



シボリキンチャクフグの一種
 フグ目フグ科キタマクラ属
Canthigaster margaritatus



フグ目フグ科モヨウフグ属
Tetradon fahaka